



校訓
真善美聖

令和5年度 福井市羽生小学校スクールプラン

めざす学校の姿

笑顔が一番羽生小

学校教育目標

【福井市学校教育目標】

郷土福井に誇りを持ち、
たくましく生きる子どもの育成

【福井市学校教育方針】

学びをつなぐ・未来につなげる
～「つながる」を大切にしたい学校づくり～

心豊かにたくましく生きる子どもの育成

め
ざ
す
児
童
像

- よく聞いて、はっきり話す子
- 関心をもってよく考える子
- 思いやりの心をもって助け合う子
- 心と体を鍛えるたくましい子
- 地域のよさを知り、愛する子

【中学校区研究主題】

協働的に学ぶ児童・生徒の育成

【研究主題】

わかる・できる楽しさを味わえる
授業づくり
～タブレット端末の活用を通して～

めざす子どもの姿「主体的に学びに向かう子」

重点項目：わかる授業づくり（ICTの効果的な利用を通して）

少人数を活かし、「学習活動」と
「児童の意欲」をつなぐ

- 基礎的な学習内容習得の徹底
→つまずきやすい内容・繰り返しの練習が必要な内容の洗い出しをする。
→朝の活動や授業初めの時間を計画的に活用し、ドリル学習等を行う。
- 授業のユニバーサルデザイン化
→学習内容の焦点化・視覚化・共有化を進める。
→発達段階に合わせ、ストーリー性をもたせた導入ができるよう工夫する。
- 体験的活動の重視
→全員で取り組み、体で感じることでできる実験・実習を積極的に行う。
- 意欲を高める効果的な評価
→徐々に増えるシールの数や先生のコメントなど、積み上げた学習への評価が視覚的に分かるように工夫する。

- ・授業がよくわかる児童（100%）
- ・授業に主体的に取り組んでいる児童（95%）

「児童と児童」「児童と教師」の
対話的な学びをつなぐ

- タブレット端末を使った考えの共有と相互評価
→ホワイトボードソフトやコミュニケーションソフトを使用して考えを共有し、友だちの考えと比較したり、参考にしたりして自分の考えを深める。
→作品を写真や動画で撮影したり、学習成果をテキストにしたりして表現・発信する。
→公開された情報に対してコメントを返し、評価し合う。
- 個別最適な学びに向けたタブレット端末の活用
→児童の興味関心やベース、習熟度に合わせて、デジタルドリル等に取り組み、「わかる・できる」を実感できるようにする。
- 自主学习ノート（ヤルンジャーノート）の活用
→クラスで供覧したり、校内放送で全校に紹介することにより、多様な学習内容や児童の意欲を認め、褒める材料とする。

- ・先生の話や友だちの発表をしっかりと聞いて考えることができる児童（95%）

心づくり・体づくり

健やかな体と心をつなぐ

- 凡事徹底、当たり前なことを当たり前に行えるようにする。
- 一人一人のよさを認め合う温かな学級づくりをする。
- 自他を大切にする心を育む道徳の授業を実践する。
- 夢や希望を育む教育を推進する。
- 楽しい体育の実践と外遊びを推奨する。

- ・学校が楽しいと感じる児童（100%）
- ・明るく元気にあいさつができる児童（95%）
- ・友だちとふれあい仲よく楽しく活動している児童（95%）
- ・将来の夢やめざす目標を持っている児童（95%）

家庭・地域や中学校区との連携

地域と学校をつなぐ

- 地域人材と自然環境を生かした体験活動を実施する。
- 園小連携、小小連携、小中連携を推進する。
- 開かれた学校に心がけ、積極的に情報を発信する。

- ・郷土を大切にしたいと感じる児童（95%）
- ・教育活動の公開がなされていると感じる保護者（90%）
- ・気軽に学校に相談できると感じる保護者（90%）

【業務改善のための取組】

・会議等の時間の縮減（1時間30分以内） ・ライフワークバランスを考慮した就労時間（超勤月45H未満） ・繁忙期における業務推進日の積極的設定 ・机上、教室の整理整頓